【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2000-426(P2000-426A)
【公開日】平成12年1月7日(2000.1.7)
【出願番号】特願平10-167229
【国際特許分類第７版】
　Ｂ０１Ｄ　53/44
　Ｂ０１Ｄ　53/81
　Ｂ０１Ｄ　53/34
　Ｂ０１Ｄ　53/38
【ＦＩ】
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　１１７Ａ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　ＺＡＢ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　１１６Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月3日(2003.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
充填材上に微生物を保持した充填床に、散水による湿潤状態下で排ガスを通気して接触させることにより、排ガス中の揮発性有機化合物及び／又は無機性悪臭物質を除去する方法において、間欠的に、前記充填床に対して、散水を行うと同時に、散水と並流方向（下降流）に、通気ガスを通常通気より高い流速で通気させて、過剰量の微生物を前記充填材から除去することを特徴とする排ガスの生物学的処理方法。
【請求項２】
充填材上に微生物を保持した充填床に、散水による湿潤状態下で排ガスを通気して接触させることにより、排ガス中の揮発性有機化合物及び／又は無機性悪臭物質を除去する方法において、前記充填床の微生物量が過剰となれば、散水を行うと同時に、散水と並流方向（下降流）に、通気ガスを通常通気より高い流速で通気させて、過剰量の微生物を前記充填材から除去することを特徴とする排ガスの生物学的処理方法。
【請求項３】
前記充填床の微生物菌体の付着による圧力損失を測定し、該充填床の微生物量を認識することを特徴とする請求項２に記載の排ガスの生物学的処理方法。
【請求項４】
充填材上に微生物を保持した充填床に、散水手段による湿潤状態下で排ガスを通気して接触させ、排ガス中の揮発性有機化合物及び／又は無機性悪臭物質を除去する装置において、処理ガス及び／又は系外ガスを前記散水と並流方向（下降流）に導入する手段を配備したことを特徴とする排ガスの生物学的処理装置。
【請求項５】
前記充填床の微生物菌体の付着による圧力損失を測定する手段を配備したことを特徴とする請求項４に記載の排ガスの生物学的処理装置。